

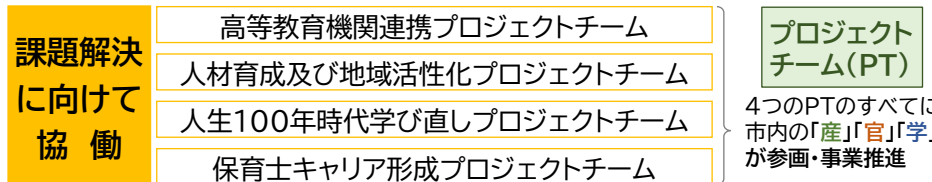
I 課題と背景

本プラットフォームが解決しようとしている課題

- 1 若者の流出による福島市の人口減少への対応
- 2 福島市内高等教育機関同士が連携した事業(FD・SD, IR, 学生募集等)の拡大の必要
- 3 中小企業における大卒者採用の促進
- 4 人生100年時代を迎え高等教育機関に求められている社会人の「学び直し」の機会の提供
- 5 保育士不足の要因である保育士の早期離職を抑制するためのキャリア教育と支援の開発

II 連携体制

課題解決のための組織体制のイメージ ※福島市内すべての大学等が加入



福島市内の高等教育機関に加え、産業界、自治体が連携し課題解決に取り組んだプラットフォームで、「ひとづくり」を推進するとともに、福島市における高等教育のグランドデザインを検討・具現化
上図実線で囲われた8機関の長による連携推進会議が本プラットフォームの最高意思決定機関

■ 最重点目標を基に事業進捗を自己点検・評価

■ 状況に応じ、プロジェクトチーム等の推進メンバーを再選

IV 最重点目標

課題解決で得られる成果と数値目標

- 1 福島市内に所在する高等教育機関の**入学者数の増加の実現**
目標値 毎年度, 前年度比1%増を目指す
- 2 福島市内の高等教育機関による**共同IRと, 合同FD・SD研修会の開催**
目標値 保育士の卒後共同アンケート実施, 共同IRを年1回実施, 合同FD・SD研修会を年1回開催
- 3 産官学との共同研究の成果を活かした**共同授業の企画と開設**
目標値 福島で必要とされる人材像を明確にするための共同研究と共同授業の開発実現
- 4 **大卒者雇用マインド創出と, 大学生が地元中小企業を正しく知る機会の共同開発**
目標値 大学生を対象とした中小企業を知る機会・動画制作を年3件以上, 独自のセミナーを年1回開催
- 5 産官学+市民の「**生涯学習のつどい**」の実施と, 生涯学習へのアクセシビリティ向上
目標値 「生涯学習のつどい」を年1件以上, 30人程度の参加が得られる規模で実施
- 6 **保育士の高い離職率に対する支援プログラムに関する共同研究**
目標値 共同研究の成果, 福島版保育士支援プログラムによる待機児童ゼロを目指す

外部評価委員会による定期的な点検・評価の実施
会計監査委員による定期的な監査の実施

III 展開する取組

課題解決のための具体的な取組

- 1 福島市内の高等教育機関による合同イベントの開催
(オンライン公開講座等による「市内の大学を知る」「学びきっかけ」の機会づくりを含む)
- 2 福島市内高等教育機関による共同IRの実施と合同FD・SD研修会の開催
- 3 産官学の共同研究による地方創生の中心的役割を担う人材育成に関する取組
- 4 中小企業における大卒者採用に対する雇用マインド創出と, 大学生が地元中小企業を正しく理解する機会の共同開発
- 5 生涯学習を一つの切り口にした地域活性化に関する知見を集約し, 産官学が連携し市民も参画する, 人生100年時代に対応した生涯学習の機会の整備の促進
- 6 保育士のキャリア形成とふくしま版保育士支援プログラムの産官学共同研究に関する取組

多彩な取組を進める理由

- さまざまな取組を展開することで, 市内の小・中学校・高校や企業, 市民・産業界に対するプラットフォームの認知の本質化が見込まれる。
- これを端緒に連携対象を拡大, 課題に適したメンバーの多角的なアプローチで迅速な課題解決を図る。

福島市の総合計画等との整合・連動



諸課題解決のための「取組の芽」を育てる

